

文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	石川県加賀市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	加賀市文化財総合活用事業		
4 実施計画期間	平成 23 年度 ～ 平成 33 年度		
5 実施計画の概要			
<p>「加賀市歴史文化基本構想」（平成23年3月策定）は、現行の文化財保護に加え、地域固有の「歴史文化資産」の保存・活用を通じて、長い歴史に裏打ちされた「加賀市らしさ」を継承し、加賀市らしい「人づくり」「地域づくり」を目指すことを基本方針としている。これに基づき、「歴史文化資産」を保存・活用し、「加賀市らしさ」を市内外に伝えることにより、住民の郷土への誇りを醸成し、地域活性化の促進を図るのみならず、その継承と発展につなげるため、下記の取組みを実施する。</p> <p>(1) 地域の文化遺産次世代継承</p> <p>① 情報発信事業</p> <p>1. 加賀江沼ふるさとの人物調査啓発事業（『加賀江沼人物事典』の作成事業）</p> <p>③ 普及啓発事業</p> <p>1. 加賀江沼ふるさとの人物調査啓発事業（「ふるさとの人物を知るフォーラム」）</p> <p>2. 能のまち構想事業</p> <p>3. 加賀ふるさと検定おもてなし講座開催事業</p> <p>④ 調査研究事業</p> <p>1. 加賀橋立「北前船文化資産」調査・研究事業（～平成29年度）</p> <p>(2) 伝統文化継承基盤整備</p> <p>① 記録作成事業</p> <p>1. 坂網猟映像記録制作事業（～平成29年度）</p> <p>※加賀市歴史文化基本構想はURL http://www.city.kaga.ishikawa.jp/kyouikuiinkai/bunkazai/kagashirekishibunkakihonkousou.html</p>			
6 実施体制			
<p>本実施計画に係る全体の企画・調整や、各補助事業に係る指導等は、加賀市教育委員会文化財保護課が行う。また、事業補助は次の団体が実施する。</p> <p>加賀市文化財総合活用事業実行委員会（会長：加賀市教育委員会 教育長 山下修平） 構成団体（江沼地方史研究会、能のまち構想事業実行委員会、加賀ふるさと検定・おもてなし講座実行委員会、全国北前船研究会、加賀市片野鴨池坂網猟保存会、加賀市、加賀市教育委員会）</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成28年度交付決定額： 102,417 千円	平成29年度申請額： 22,820 千円
(2) 実施事業の概要		別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<p>若年層をはじめとする市民の、地域の歴史や文化、歴史文化資産に対する認識が深まることで、郷土への誇りが醸成されるとともに、歴史文化資産の適切な保存と活用がなされ、次世代への継承につながる。また、世代間、地域間など人とひととの交流の場が創出され、地域の活性化にも寄与する。さらに、行政と民間まちづくり団体、文化財保護団体の連携が一層強化される。ひいては、地域の個性を創出し際立たせることにつながる。同様に、市の観光戦略プランにもあるとおり、地域の魅力が向上することにより、来訪者の増加が期待でき、あわせて、その魅力の情報発信により効果的な誘客促進、地域活性化を図ることができる。</p>			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：	地域のケーブルテレビに依頼し、個々の事業の取材及び放映を積極的に行う。		
事業概要：	本事業で作成したパンフレット等は、市内の学校や各地区会館、公民館、観光案内所、事業所、旅館、各種団体等や観光イベント会場等で配布する。		
事業概要：	調査研究事業により得た情報は、講座や説明会、市の広報紙等で可能な限り提供する。		

11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等

12 担当部局

地方公共団体
担当部局課

加賀市教育委員会文化財保護課（文化財保護係）

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 1 :	地域の文化遺産を活用した取組数（本事業の取組を除く）（具体的な指標は次のとおり）					
具体的な指標 1 :	次世代への継承と発展のためにこれまでの事業の調査や講座の中からピックアップした人物や地元の題材で講演会やパネルディスカッション等を毎年度開催			関連事業:	①、②、④	
目標値 1 :	平成 28 年度 1 回 ⇒ 平成 33 年度 5 回					
設定根拠 1 :	毎年継続的に題材を変えて行うことにより地元の著名人の周知を広く周知されるようになり、人物事典の販促や加賀市歴史文化学習帳の増刷、人物講座の受講者数の増員が見込まれる。					
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
回	回	回	回	回	回	
目標区分 2 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 2 :	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数（具体的な指標は次のとおり）					
具体的な指標 2 :	ホームページ、SNS等での映像を公開し、片野鴨池坂網猟保存会の会員数の現状維持を設定			関連事業:	⑥	
目標値 2 :	平成 28 年度 27 人 ⇒ 平成 33 年度 27 人					
設定根拠 2 :	「片野鴨池坂網猟保存会」では、坂網猟資格のある猟師の高齢化による担い手不足を解消するためにも若手の後継者を育てて現状維持をはかる					
進捗状況 2 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	
目標区分 3 :	地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化					
評価指標区分 3 :	その他（具体的な指標は次のとおり）					
具体的な指標 3 :	伝統芸能継承のために継承者やその芸能の裏方としてバックアップできる中間年齢層の指導者育成			関連事業:	③	
目標値 3 :	平成 28 年度 0 人 ⇒ 平成 33 年度 3 人					
設定根拠 3 :	指導者に高齢者が多いため					
進捗状況 3 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	
目標区分 4 :	地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化					
評価指標区分 4 :	地域の文化遺産関係資料館、博物館等の年間入館者数（具体的な指標は次のとおり）					
具体的な指標 4 :	北前船の里資料館の年間入館者数			関連事業:	⑤	
目標値 4 :	平成 28 年度 12,000 人 ⇒ 平成 33 年度 16,000 人					
設定根拠 4 :	調査した資料を公開することにより、これまでごく一部の研究者にしかその存在が知られていなかったものが、誰にでも閲覧することができるようになり、地域資源の掘り起こし、関心の高まりが期待される。結果として関連する施設への集客が見込まれる。また、現在目指している北前船をテーマにした日本遺産への認定が決まり更なる相乗効果も期待される。（27年度 13,993人 28年度見込み 12,000人）					
進捗状況 4 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	

8 (2) 実施事業の概要 別紙

事業①：	ふるさとの人物調査啓発事業	実施団体：	江沼地方史研究会			
事業区分：	情報発信	事業期間：	平成 28 年度 ~ 平成 29 年度			
事業概要：	平成28年度に実施してきた「人物調査」の成果に基づき、平成29年度においては、ふるさとの人物およそ600人の業績のとりまとめ、編集作業と成果品としての『加賀江沼人物事典』を刊行し、学校、公民館などの公共施設に配布し、郷土の人物を広く啓発する。					
評価指標区分：	・補助事業終了後のパンフレット等コンテンツ増刷数（自主事業分）			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	『加賀江沼人物事典』を江沼地方史研究会自主財源で、さらに700部増刷し市民に広く頒布していく。					
目標値：	平成 28 年度	0 部	⇒	平成 33 年度	700 部	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
部	部	部	部	部	部	
事業②：	ふるさとの人物調査啓発事業	実施団体：	江沼地方史研究会			
事業区分：	普及啓発	事業期間：	平成 28 年度 ~ 平成 29 年度			
事業概要：	28年度実施した「加賀江沼人物講座」（15回シリーズ）を総括する形で、「ふるさとの人物を知るフォーラム」を市内の文化ホールにて実施する。内容は、「金沢ふるさと偉人館」館長などによる基調講演と当研究会役員や郷土史家など4、5名をパネラーとしたシンポジウムを開催する。					
評価指標区分：	・保存会への新規入会者数			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	江沼地方史研究会会員(会員数113名)の若年層新規加入者数					
目標値：	平成 28 年度	0 人	⇒	平成 33 年度	5 人	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	
事業③：	能のまち構想事業	実施団体：	能のまち構想事業実行委員会			
事業区分：	普及啓発	事業期間：	平成 29 年度 ~ 平成 33 年度			
事業概要：	能楽の題材豊かなこの地において武家町民文化融合の特有形態を守りつつ「能のまち」としての構想を基盤に、伝統の普及・文化振興を行う。演能として地元題材の能と地域民俗芸能披露を行う。また、地域特有の茶道や継承すべき囃子などの芸事の文化教室を連続開催する。					
評価指標区分：	・その他			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	芸能を推進させるために、地域能楽関係団体や民俗芸能継承団体からのスタッフ（運営・指導）や能楽の継承体制の賛同者としての協力者数					
目標値：	平成 28 年度	0 人	⇒	平成 33 年度	40 人	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	

